



## 展示数約3,500点！金物のまちならではの資料館 三木市立金物資料館



1976(昭和51)年に開館した金物資料館は、三木のこぎりのみかんなにてこがたなに伝わる金物に関する資料や大工道具(鋸・鑿・鉋・鋸・小刀)などを一般公開しています。展示されている金物の数は約3,500点にのぼり、愛好家をはじめ、DIYを趣味とする方などを中心に、県外からも多くの来館者が訪れています。

**問 金物資料館**  
(上の丸町5-43)  
☎83-1780

### 先人が積み上げてきた技術・考えに触れる場

金物資料館は、金物のまち三木に伝わる伝統的手工業の製法や金物製品の貴重な資料を収集・保存・展示する施設として開館しました。展示物の多くは有志から寄贈いただいた大変貴重なものばかりです。

当館の特徴は、原材料から製品化までの製造工程を実物で見ることができるパネルが数多く展示されているところです。1つ1つの工程を



製造工程の紹介では説明のパネルと各製造段階の実物品を展示している。

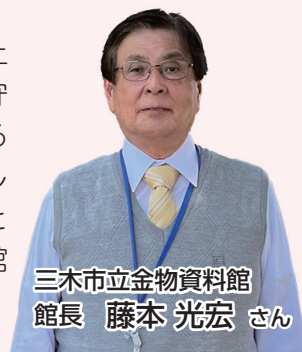


たたらで精錬された鉄の塊「金母(けら)」。この中にごく僅かな鋼が含まれている。

詳しく紹介する展示はめずらしく、伝統的手工業を後世に残そうとした先人たちの意志を強く感じます。

また、日本で千年以上にわたって受け継がれてきた製鉄法である「たたら製鉄」の資料や道具のほか、たたら製鉄で生み出された金物の原材料となる鋼などの展示もあり、見ごたえたっぷりです。

私たちの祖先が積み上げてきた技術を大切に守りつつ、産業のさらなる発展を促す一つの場として活用してもらえることを念頭に、今後も資料館の充実に取り組みます。



三木市立金物資料館  
館長 藤本 光宏 さん

### 原則 毎月第1日曜に金物神社で古式鍛錬が見れます！

古来の伝統技法を継承するため、三木金物古式鍛錬技術保存会の5部会(鋸・鑿・鉋・鋸・小刀)のメンバーが交代で公開実演を行っています。鍛造に使う炎を制御する「鞴」を使い、その御神火で鉄を鍛える光景を間近で見学できます。

**場** 金物資料館横の古式鍛錬場

**問** 三木工業協同組合 ☎82-3154



今月の開催予定は27ページで紹介！